

福祉サービス第三者評価基準

【 共 通 版 】

H28年4月1日改定

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		自己評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<p>評価概要 「入園のしおり」に理念・基本方針について明記し、保護者に対しては入所前の面談や一時保育の利用案内の際に説明をしている。4月に「はじめまして会」を開催し、そこで園長からも説明している。職員については、入職時に配布される行動手帳に、理念や基本方針が示してある為、日々の業務に当たる際の行動規範になっている。また月1回の全体会にて理事長から、その都度理念や方針を話している。</p>		

I-2 経営状況の把握

		自己評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<p>評価概要 国、鹿児島県 鹿児島市の事業に関する通知などを積極的に活用し、また各種団体などの情報を的確に把握、評価し現在の利用者のニーズにこたえるように日々研鑽を図っている。鹿児島市からの説明会などには積極的に出席している。毎月担当税理士事務所と会計などの把握と確認を行っている。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・b・c
<p>評価概要 毎月、幹部ミーティング（理事長・園長・事務長・主任・副主任）を開催し、その場で日々の運営に対しての問題点の挙げて、検討を行っている。幹部が職員からの意見も吸い上げ、ミーティングにて共有している。幹部ミーティングの内容は、職員にも共有している。理事会にて、報告して、意見を頂くようにしている。</p>		

I-3 事業計画の策定

		自己評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p>評価概要 当社の理念に沿った事業計画の作成を行っている。今後は職員にも事業計画に参加してもらえるような仕組みをつくっていく必要がある。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p>評価概要 会計事務所と共に、毎年度予算として具体的な数値設定を行っている。社会福祉法人の会計を理解することは難しいため、職員にも丁寧に説明する必要がある。</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a b・c
<p>評価概要</p> <p>事業計画については、全職員に周知するようにしている。また、未確定な事業については、理事会にて事前に協議を行い、議事録を公開することとしている。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a b・c
<p>評価概要</p> <p>事業計画は、保護者がいつでも見れるように掲示行っている。経営計画については、保育行政が認可制のため、認可の確定がえられてからの公示となっている。社会福祉法人の会計を理解することは難しいため、丁寧に説明する必要がある。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		自己評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a b c
<p>評価概要</p> <p>毎月の月案において職員各自で自己評価を行い、他の職員へ周知をしている。また、毎月の目標を明確に立てることにより職員のベクトルを合わせて保育を行うように心がけている。毎月のミーティングでは各自の目標に対する実践・気づき（反省）について公表することによって職員間での学びにもつながっている。月案は園長も確認し、評価を行い、必要に応じ指導を行っている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a b c
<p>評価概要</p> <p>各ミーティングの中で運営についてや行事や日々の保育において改善が必要な点や課題についての話し合いを定期的に行い、職員間で改善策の検討や改善に向けての取り組みを行っている。ミーティングには園長も出席し、必要に応じ助言・指導を行っている。</p>		

評価対象II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		自己評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a b c
<p>評価概要</p> <p>管理規定などにより、明確に規定している。</p>		

11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a · b · c
<p>評価概要 必要な研修会へ出席することにより研鑽を深め、園内のミーティングを通して職員への周知を図っている。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a · b · c
<p>評価概要 各ミーティングへ積極的に出席し、職員とのコミュニケーションを図るように心がけている。保育計画を確認し、必要に応じ助言・指導を行っている。保育の質の向上のための情報収集や研修の充実を図っている。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a · b · c
<p>評価概要 税理士や社会保険労務士等の協力を得ながら、業務をより効率的に行うようにしている。また、日々の運営状況を把握するために、各クラスに足を運んでいる。職員から上がった課題は、幹部ミーティング（理事長・園長・事務長・主任・副主任）にて共有し、検討している。</p>		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		自己評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a · b · c
<p>評価概要 人材確保のために採用活動を行うとともに、運営に於いて必要な人材の確保に努めている。新卒者採用の為、各学校を訪問している。実習生にも積極的に就職の声掛けを行っている。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a · b · c
<p>評価概要 当社の理念を含めて、方針などは行動手帳に明確に記載している。また、年1回の職員面談と臨時面談にて職員の意向や評価を組み上げるようにしている。人事基準は、各種規定にて明確に定めている。職員から上がった課題は、幹部ミーティング（理事長・園長・事務長・主任・副主任）にて共有し、検討している。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a · b · c
<p>評価概要 職員の労働状況について管理し、有休取得状況や時間外労働についてもしっかりと見直しをし職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいる。必要に応じて社労士にも相談し、アドバイスをもらっている。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a · b · c
<p>評価概要 年1回の個人面談を行い行動手帳に基づく、職員の短期目標や長期目標についての聞き取りを行った。毎月のクラスの目標に対する実践や気づきを確認して、職員一人ひとりの達成度の確認などを行っている。</p>		

18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a b・c
<p>評価概要 当社の理念を含めて、方針などは行動手帳に明確に記載している。人事評価を通して、ひとりひとりに具体的に目標をもってもらえるように助言している。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a b・c
<p>評価概要 主任・副主任を中心に各職員に必要なかつ適切な研修が受けられるように、外部研修については年間計画を作成し、必要な研修に参加できるように配慮している。また、研修で学んだ内容については、全体ミーティングで報告してもらうとともに、研修報告書を回覧することで理解を深めるようにしている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a b・c
<p>評価概要 マニュアルの作成を行い、受け入れを行っている。また、保護者に対しては掲示板でのお知らせを行ったり、実習生との事前のオリエンテーションを利用して指導担当者を実習の進め方に関する打ち合わせができるように配慮している。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		自己評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a b・c
<p>評価概要 日本財団のHPを利用して、法人・保育所の現況報告を行っている。また、第三者評価の受審結果や日々の保育の内容については保護者の方が手に取れる場所に設置し、閲覧ができる状態にしている。しかし、地域に向けての情報発信については不十分である。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a b・c
<p>評価概要 労務・経理については公認会計士や社会保険労務士の助言を得ながら業務を遂行している。また、毎年職員に向けての決算報告を行っている</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		自己評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a b・c
<p>評価概要 町内会に入り、町内会の行事などにも参加するよう心掛けている。また、園外散歩を通して地域の方への挨拶や声掛けなどのコミュニケーションを図っている。評議員委は地域の方も多いため、地域からの意見なども聞き取りを行っている。</p>		

24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a (b) c
<p>評価概要 ボランティアの受入のマニュアルを作成し、受け入れ態勢を整備している。職場体験などの機会をも蹴ることができていないが、教育機関と連携をし、積極的にボランティアを受け入れるように取り組みをしていきたいと計画をしている。現在ボランティア受け入れ実績がないため、今後の課題である。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a (b) c
<p>評価概要 必要に応じて、保健所・児童相談所・かかりつけ医等と連携が取れるように体制を整えている。連絡会等をとおして協同的に連携を取るには至っていないが、今後体制づくりを行い、密な連携が取れるように取り組む予定である。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a (b) c
<p>評価概要 地域の子育てサロンで研修会をするように計画をしている。去年から「秋祭り」と称して、地域に園庭開放も行っている。また、災害時に避難場所として活用できるように準備をしているが、地域への発信と言う点においては不十分などころである。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a (b) c
<p>評価概要 一時保育の受入を積極的に行うことにより地域の福祉ニーズに対応しているが、地域の福祉ニーズに対してより保育所としての機能が十分に発揮できるような取り組みを行ってきたい。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		自己評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a (b) c
<p>評価概要 行動手帳を通して、子どもの尊重や人権保護については配慮する行動をとるよう心掛けている。研修に参加することで、人権保護についての学びを深めている。子ども達に対しては、『個』を尊重する対応をするように心がけている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a (b) c
<p>評価概要 プライバシー保護のマニュアルや児童虐待防止のマニュアルを作成して、マニュアルに基づいて保育を実施している。子ども達や保護者に対しても、送迎の際や保育中に得た情報については、他言しないようにしている。</p>		

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 当園の基本情報や基本方針については、鹿児島市保育園協会やりぼん館などに情報開示を行っている。また入園前の資料については、毎年改訂をしよりよいものを提供できるように心掛けている。利用希望者や見学者については、十分な時間を取り可能であれば子ども達と触れ合うことができるように配慮している。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 クラス替えがある際には、事前に個別に保護者へ説明するように配慮している。また、担当の保育士等の変更についても職員から直接事前に挨拶等をするようにしている。入所前の説明については、個別面談の際に資料を使用して説明を行っている。基本的に面談を実施する担当者を決めて、担当者から説明をするような体制を作っている。苦情相談がある場合には、プライバシーが守られた部屋で面談を実施している。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 転園・卒園については、鹿児島市の指定する保育所保育要録を事前に送付するようにしている。相談方法等についての文書の配布はしていない。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子ども満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 毎年2月に保護者向けにアンケートを実施しその結果をまとめ、公表している。また、必要に応じて個人面談を行い、保護者の方と直接話をする機会を設けている。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 第三者委員の設置し苦情解決の体制を整えており、意見箱の設置やアンケート等による受付を行っている。年に1回のアンケートの集計や良さられた意見についての回答を掲示し、保護者に分かりやすく伝えるようにしている。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 送迎の際に保護者翔コミュニケーションを取るようにしている。また、連絡帳や運営アンケートでも意見をいただけるように配慮している。しかし、わかりやすく説明した文書等の作成については不十分である。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a Ⓑ c
<p>評価概要 相談や意見については、マニュアルを整備して対応をしている。また、日々の保育の中での相談などについては、連絡帳を通して返答をすることもあるが、基本的には送迎の際に時間を作って直接お話をするようにしている。また、個別で時間をかけての対応が必要な際には、相談室で話し合いができるようにしている。</p>		

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	Ⓐ b・c
<p>評価概要</p> <p>ヒヤリハット報告・事故報告の整備を行い、事故があった際には職員間で共有できるようにしている。また、事故が発生した場合には、事故の要因や再発防止策を必ず検討するようにしている。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	Ⓐ b・c
<p>評価概要</p> <p>感染症についてのマニュアルの作成をしている。また、感染症が発生した場合には、保護者や職員に周知をし感染拡大防止に努めている。また、感染症についての一覧表を作成し、感染症別での対応について確認がすぐに行えるようにしている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	Ⓐ b・c
<p>評価概要</p> <p>職員参画でマニュアルを作成し、災害時の対応について共通理解を持っている。また、毎月の避難訓練で火災だけではなく、地震、水害の訓練を行い、緊急時の対応について学んでいる。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		自己評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	Ⓐ b・c
<p>評価概要</p> <p>日々の保育・業務についてのマニュアルは各クラスに設置しており、確認しながら業務が行えるようにしている。標準的な実施マニュアルとしては十分な物ではないが、今後職員参画でより良いマニュアルにしていけるようにしたい。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ b・c
<p>評価概要</p> <p>日々の保育についての見直しや業務についての見直しは、毎月のミーティングで共有している。また、日々改善が必要な点については、職員間で話し合いをするようにしている。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a Ⓑ c
<p>評価概要</p> <p>毎月の指導計画については、発達段階のチェックリストを活用しながら、個々の発達状況をみて作成している。また、必要な際には、関係機関との連絡を取りながら進めていくようにしている。</p>		

43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a b・c
<p>評価概要 月案については、担当職員だけではなく他の職員の意見も参考にしながら作成をし、それぞれの発達段階がわかるように適切に見直しを行っている。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a b・c
<p>評価概要 全ての園児に対して同じ記録用紙を使い、細かに分かれた区分によって評価基準についても示している。毎月のミーティングで情報の共有を行っている。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a b・c
<p>評価概要 園児の名前が書かれている書類等については、事務室にあるシュレッダーで処理するようにし、個人情報の記載がある書類については、決められた場所での保管を行っている。</p>		

福祉サービス第三者評価基準

(様式2)

【 保育所版 】

[H28改訂版]

第三者評価内容評価基準 (保育所版)

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		自己評価結果
A① A-1-(1)-①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・ (b) ・c
評価概要 前年度の各学年の保育過程の反省を考慮し、子ども達に合わせた保育過程を作成している。また、園の特性である異年齢保育、兄弟児保育、年齢別保育、郷中教育なども取り入れた保育過程になるよう考慮している。年齢別グループでは、各年齢発達に合わせたカリキュラムを組んでいる。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		自己評価結果
A② A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・ (b) ・c
A③ A-1-(2)-②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・ (b) ・c
A④ A-1-(2)-③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	(a) ・b・c
A⑤ A-1-(2)-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	(a) ・b・c
A⑥ A-1-(2)-⑤	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a) ・b・c
A⑦ A-1-(2)-⑥	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ (b) ・c
A⑧ A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ (b) ・c
A⑨ A-1-(2)-⑧	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a) ・b・c
A⑩ A-1-(2)-⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a) ・b・c
A⑪ A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	(a) ・b・c

評価概要

A② A-1-(2)-①について

- ・増築した部分の温度が高かったために、保育室に壁掛け用の扇風機を設置して改善を行ったが、まだ日差しが強く室温が上昇するため、すだれを設置し照り返しを防いでいる。また、子ども達の生活の流れに合わせて保育室のレイアウトを変え、環境を整えるようにしている。
- ・寝具は業者のものを使用し、シーツも毎日交換を行っている。
- ・7月からは沐浴を開始し、体を清潔に保ち入眠できるようにしている。

A③ A-1-(2)-②について

- ・ICT支援システム(コドモン、連絡ノート)において家庭の状況を把握している。
- ・子どもの人権を尊重する為にニックネームではなく、名前に「くん」「ちゃん」を付けて呼ぶように徹底している。
- ・保育士の言葉遣いは、「しなさい」ではなく、「～しよう」という言葉遣いになるように気を付けている。
- ・子どもを急かしたり責めるような言葉掛けではなく、褒めて認めることで子どもの自主性を伸ばすよう心掛け

A④ A-1-(2)-③について

- ・朝の会や帰りの会、ショコラ集会で「道徳・文化」というカリキュラムで挨拶や衣服のたたみ方など生活習慣に関することを教えている。
- ・異年齢保育を行っていることで、年上の子は年下の子への接し方を学び、世話をすることで自覚を持っていく。年下の子は年上の子に世話をされることで憧れを抱く。
- ・トイレトレーニングや食事の援助は月齢、年齢に応じて個別に行っている。記録として個人記録にも残している。

A⑤ A-1-(2)-④について

- ・戸外では安全に遊べるように人数を考え、遊ぶ時間を決めている。
- ・散歩に行くときは交通ルールや地域の方への挨拶、公共マナーを守って遊ぶように指導している。
- ・自己表現ができるように、音楽カリキュラムで体をたくさん動かすなどしたり、集会で発表の場を設けるなどしている。
- ・わくわくタイムという子どもが自発的に遊びを展開出来るカリキュラムを取り入れ、協働する中で人間関係が育むようにしている。

A⑥ A-1-(2)-⑤について

- ・離乳食の移行の際、個別に面談を行い個々の状況に合わせて移行できるようにしている。
- ・人数や生活習慣を考慮し、レイアウトを変えるなど配慮している。
- ・手作りサークルや手作りおもちゃを作成し、指の運動や記憶を促す活動に繋がっている。
- ・室内で滑り台やマット運動を行い、体幹を鍛えている。
- ・天井にモビールを飾り、脳に刺激を与え、興味関心を高めている。

A⑦ A-1-(2)-⑥について

- ・保育室だけでなく、園庭や2階での活動も積極的に取り入れ、活発に体を動かせるようにしている。
- ・1歳児に於いては月齢に合わせて玩具などを配慮して与えている。
- ・1歳児保育室は食事と睡眠を1つの部屋で行っており、生活の流れの動線が良くない為、子どもたちも落ち着かない様子がある。
- ・2歳児に於いては遊びに集中し、遊びが発展出来るように、コーナー作りを行い環境に配慮している。

A⑧ A-1-(2)-⑦について

- ・就学に向けて、幼保小連絡会などで地域の幼稚園、保育所、小学校と連携を図り、就学前には子どもたちひとりひとりの連絡会を行って卒園する子どもたちがスムーズに小学校入学が出来るようにしている。
- ・子どもたちの心が育まれるよう朝の会や帰りの会の時間を利用して道徳や季節の行事について年間計画を立て、子どもたちへ伝えるようにしている。
- ・制作や運動遊びを子どもたち自身で楽しめるよう環境を整え、子どもの主体性を尊重し自由に発想し遊びを発展させられる活動を取り入れている。
- ・縦割り保育を行う中で年長児が年少児のペースに合わせることもあり、年長児が時間を持て余すことがある。

A⑨ A-1-(2)-⑧について

- ・3か月に1回、臨床心理士の先生による訪問で発達や行動の気になる子どもの観察の結果、園での対応について指導して頂いている。
- ・発達や行動の気になる子どもについては、保育士間でミーティングで話し合いを元に、保護者の方と面談を行っている。
- ・専門機関とは送迎の際に情報交換をしたり、必要な場合に施設訪問、電話連絡を行うなどしている。
- ・視覚優位の子どもには絵カードで見せるなど、子どもの状況に応じた対応を心掛けている。

A⑩ A-1-(2)-⑨について

- ・各クラス引き継ぎノートやコドモンの園内連絡で保育士間の情報交換を行っている。
- ・延長保育においては異年齢で過ごす、日頃の異年齢の関わりを持たせることで特にトラブルもなく過ごすことができている。
- ・延長保育時のおやつは、基本的に腹持ちの良いおにぎりを提供している。夕食のことも考え量の調節も行っている。
- ・暑い時期は、子ども達の体力などを考慮して、夕方の園庭遊びの時間を減らすなどしている。

<p>A⑪ A-1-(2)-⑩について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けて、4、5月に年長児を対象に個別面談を行っている。面談で保護者の就学の不安を聞き取りし、保育園で就学に向けて取り組んでいること(数の概念、字の練習、小学校訪問、小学校について、挨拶等)を説明している。 ・保育要録に関しては、過去のミーティングで挙げられた事柄も詳細に記載するようにしている。 ・春から自分の荷物は自分で準備をするなど具体的に就学を意識できるように促している。 ・6月から午睡の時間を無くし、就学に向けて生活リズムを整えるようにしている(午睡が必要な子どももいるので個別に対応している) 		
<p>A-1-(3) 健康管理</p>		自己評価結果
<p>A⑫ A-1-(3)-①</p> <p>子どもの健康管理を適切に行っている。</p>		a・b・c
<p>A⑬ A-1-(3)-②</p> <p>健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。</p>		a・b・c
<p>A⑭ A-1-(3)-③</p> <p>アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。</p>		a・b・c
<p>評価概要</p> <p>A⑫ A-1-(3)-①について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調不良や怪我については事故報告書や申し送りノートにて保育士で情報共有し、迎えの際に保護者にも状況を伝えるようにし、翌朝保護者の方に子どもの家庭での様子を確認している。 ・SIDSに関しては、保護者の方に情報提供はしていない。 ・午睡チェックを0歳児は5分毎、1、2児は10分毎、3-5歳児は20分毎に行って表に記入している。 ・年度が替わる時に、予防接種などの記録のある児童表の見直しを保護者の方をお願いしている。 ・体調不良の場合は、保護者へすぐに電話連絡し早めの迎えをお願いしている。迎えを待つ間は園舎横のユニットハウスにて隔離対応を行っている。 <p>A⑬ A-1-(3)-②について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に2回の内科検診・歯科検診を行っている。結果は個別にファイリングしている。 ・歯磨き指導を行ったり、食に関心を持てる様に食育活動を行っている。 <p>A⑭ A-1-(3)-③について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー疾患・慢性疾患のある子どもに対しては、医師の指示書を提出してもらい対応している。 ・ミーティングや勉強会では、アレルギー対応食への提供について検討を重ねている。 		
<p>A-1-(4) 食事</p>		自己評価結果
<p>A⑮ A-1-(4)-①</p> <p>食事を楽しむことができるよう工夫をしている。</p>		a・b・c
<p>A⑯ A-1-(4)-②</p> <p>子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。</p>		a・b・c
<p>評価概要</p> <p>A⑮ A-1-(4)-①について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間で食育計画を作成し、月2回食育の計画を立てている。 ・年齢毎に適量を設定し、個人差や食欲に応じて量の調節を行っている。 ・配膳や片付けも子どもたちで行っている。配膳は年中・長児が当番制で行うことで食に対して意欲を持てるように促している。 ・提供した食事の写真を夕方までに玄関横のホワイトボードに掲示し保護者に知らせている。 ・保育参観日の際には給食の試食を提供し、給食の様子や味、食材の大きさを知ってもらう。 <p>A⑯ A-1-(4)-②について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶏飯なその地域食や行事食(七夕・節分・ひな祭りなど)を提供している。 ・残食の調査記録や検食簿を献立調理に反映している。 ・ご飯の量は、残食や子どもの様子を見て、加減している。 ・子どもの状況に合わせて、食材を小さくしたり刻んだりして提供している。 		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果
A⑰ A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭と連携を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コドモンを活用し、日常の様子を家庭と園両方で把握し合っている。 ・コドモンにて月のカリキュラム一覧をお知らせしている。 ・子どもの成長に応じて面談を行ったり、ミーティングで気になることがあれば、個別に話す時間を設けている。 		
A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果
A⑱ A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	Ⓐ・b・c
A⑲ A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・Ⓑ・c
<p>評価概要</p> <p>A⑱ A-2-(2)-①について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面談に園舎とは別のユニットハウスを利用する事で、保護者が周りを気にせず相談出来る環境を整えている。 ・相談内容、子どもや保護者の様子など幹部で協議し、対応について決定している。 ・子どもの迎えの時間帯を把握した上で、業務時間をずらし保護者対応出来る様にした。 <p>A⑲ A-2-(2)-②について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の受け入れの時、直接保護者の方からの体調を聞き、視診で目についた傷など状況を尋ねている。 ・定期的な職員研修は行っていない為、実施努力を行っている。 		

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		自己評価結果
A㉔ A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間で4回、事例発表を行う様に計画している。その際、自分の保育を振り返ると共に他の保育士の実践等を見て学び合い、意見交換を行っている。 ・各年齢の発達目標を設定し、それに沿って自分の保育に足りない物はないか自己評価出来る様にしている。 		